

まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ意見まとめ

	まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ グループ討議記録		
地区	大塚地区	回数	第1回
日時	2021年8月29日(日) 13:30-16:00		
参加者数	22名		

1. 計画策定に向けた検討やワークショップの進め方について

1) 公共施設マネジメントの考え方について

公共施設の再編の方針のように、施設の複合化によって効率化したほうがよい。

- ・ 公共施設再編の方針のように、公共施設の複合化によって3割削減し効率化した方がよい。

小学校に多様な機能を持たせるという話は、コストを考えるとよいのかもしれないが、複合化することにより各施設の良さがなくなるのは寂しい。元の施設の利点が失われないように配慮してほしい。

- ・ 小学校に多様な機能を持たせるという話だが、コストを考えると良いのかもしれないが、複合化、統合することにより、各施設の良さがなくなるのは寂しい。元の施設の利点が失われかねないように配慮してほしい。
例) 保育園の異年齢保育は、子どもにとって良い環境だから残していきたい。

大塚金野線の整備や一般廃棄物最終処分場の返還など、今後大塚地区に影響のある事がいくつかある。跡地活用など公共施設マネジメントと合わせて考えてもよいのではないかと。

- ・ 23号線のバイパス工事がまもなく(R6年予定)開通する。その後、大塚金野線の整備が始まる予定。10年後位には竣工するのではないかとされている。大塚には一般廃棄物最終処分場があるが、10年後位には満杯になるとされている。広大な敷地が整地されて大塚に返還される。「跡地問題をどのようにするのか」が今後の課題になる。今のうちに考えていくことが必要ではないか。
- ・ 最終処分場の跡地利活用については、そこに小学校や中学校の複合施設を設置するなどもあるかもしれない。あるいは大規模災害時の避難所というアイデアもあるかもしれない。公共施設マネジメントの議題に載せても良いのではないかと。

2) ワークショップの進め方について

今後整備する施設を主に使うこととなる若い世代の意見を尊重したい。

- ・ これからつくる公共施設は、いまの若い世代が主に使うことになる。若い世代の意見を尊重したい。

色々な分野の方が参加しており様々な意見が聞けることが楽しみだ。今回のグループにはいない他地区の方の意見も聞いて検討を行いたい。

- ・ 今回のメンバーは東大塚の人ばかりなので、西大塚や相楽など遠い地域の人にも意見を聞いた方がよい。
- ・ 相楽はミカン農家も多く、生活パターンが違うかもしれない。
- ・ いろいろな分野の方が参加している。今回は4人参加ということであるが、4人各々の多様な意見が聴けることが楽しみ。
- ・ 今の小学校や保育園の状況や課題について気づいていなかったなので、皆さんの意見を聞いて参考になった。

全ての回に参加できず、残念だ。また、議論の進捗についていけるか不安だ。

- ・ 個人的には5回通して参加出来るかどうか分らず、不安な面もある。(参加できなかった場合の議論の進捗について行けるかどうか)
- ・ 9月に一回参加出来ないのが残念

かわら版は、ひめはる会館やゲンキーなど誰もが目に留まる場所に掲示してあるとよい。かわら版やオープンハウス等以外にも SNS での情報発信があるとよい。

- ・ 相楽地区では、ひめはる会館や御堂に掲示されると地域の人達はほぼみんな見ていると思われる。他の地区も含めて、誰もが目に留まる場所に掲示してあると良い。
- ・ 地区で情報共有するための掲示について、サンヨネやゲンキーに掲示してもらえるとみんなに見てもらえると思う。
- ・ かわら版、オープンハウス、ワークショップの他、SNS（フェイスブックや市の公式LINE等）での発信があると良い。

2. 地区のまちづくりや公共施設について

1) 地区のまちづくりについて

地区に若い世代が少なく、人口も減っているため不安だ。若い世代が移り住んでくれるような地域を作りたい。

- ・ 地域に若い世代が少ない。さらに人口が減って不安。若い世代が移り住んでくれるような地域を作りたい。

若い世代が大人になると他の地区へ出ていってしまう。働く場所がないことや買い物・交通等の不便さが原因ではないか。

- ・ 22歳以上の若者が地区に残っていない。消防団で、22歳以上を募集しても人がいない。28歳も残っていない。原因として働く場所がないからではないだろうか？
- ・ 大塚で生まれ育ち、親が大塚地区に住んでいても、子どもが大塚地区に新築して居住することは聞いたことがない。住むにしても三谷や蒲郡、豊橋や豊川など別の地区に移り住む。
- ・ 大塚地区の同級生同士でも、集まりが良い世代と良くない世代などばらつきがみられる。保育園から小学校、中学校まで、ほぼエスカレーターで育っている。大人になってから大塚地区を離れることには、何かしらの問題があるのではないかと感じる。不便さが原因ではないかと感じる。
- ・ 日用品や食料品を買う場所が少ない。買い物が不便。病院（小児科はない）も少ない。大型商業施設もない。
- ・ 大塚駅周辺には一時駐車場がない。車で駅まで行っても駐車することができないので、結局駅が利用できない。駅も遠い。交通の不便を感じる。

小学校のクラス数が減っている一方で、身近には3人の子どもがいる家庭もある。今後、子どもの数はどうなっていくのかと心配だ。

- ・ 小学生はクラス数も減って減少しているように思えるが、保育園をみると3人の子どもがいる家庭もある。将来、子どもの数はどうなっていくのだろうか？と心配を感じる。

みかん農家の後継者がおらず、農家が減っている。蒲郡の重要な産業として残していきたい。

- ・ 蒲郡みかん農家の後継者がおらず、農家が減っている。蒲郡の重要な産業として残していきたい。
- ・ 高齢化問題は深刻だが、75歳が現役で活躍していることもすごい。

相楽町はみかん農家が多く元気な高齢者が多かったが、農業や生活スタイルも変わってきているため、昔と事情は変わってきていると思う。

- ・ 相楽はミカン農家が多いが農業も大きく変わり、生活スタイルも変わってきている。自分たちで相楽大塚いきいきクラブを始めるときに、相楽のお年寄りはお煙草の草むしりなどやることがあるから大丈夫だよ、なんて言われたが今は事情も違っていると思う。

地域振興が遅れているという不満はない。人がよく良い地域だと思う。

- ・ 大塚地区に誇りを持っている。人がとても良い。
- ・ 大塚の地域振興が遅れているといった不満や心配事はなく、良い地域だと思う。

海と山が近く自然が多いのが魅力だ。公共施設も自然のよさを活かせれば魅力につながるのではないだろうか。

- ・ 海と山がある。自然が多いのが大塚地区の魅力。公共施設も一緒になって自然の良さを活かせれば魅力につながるのではないだろうか。

若い世代には不便があるかもしれないが、高齢者には住みやすい地区だと思う。

- ・ 大塚にきて 30 年経つが、住みやすさを感じている。若い方にはいろいろな不便があるのだろうと今日知ったが、年配の方には住みやすいかも（苦情の声をあまり聞いたことがない）。

高齢者のことを考えると、くるりんバスの本数や路線を増やすのはどうか。みんなが使いやすいバスになると車がなくても便利に暮らせるようになる。

- ・ 後期高齢者の免許返納や事故などを考えると、くるりんバスの本数を増やす、路線も増やすのはどうか。みんなが使いやすいバスになれば車がなくても便利に暮らせるようになるのではないか。

市内でも外国人が多い地区ではないだろうか。外国人との共生も考える必要があるだろう。

- ・ 大塚地区は蒲郡市内でも、外国人が多い地区ではないだろうか。これからを考えると外国人との共生も考える必要があるだろう。

施設の統合により避難所が減ってしまうと災害時に機能するのか疑問だ。避難所は複数あったほうが、多くの方が避難しやすいだろう。避難所の数と避難所までの距離は公共施設の配置を考える視点として必要だ。

- ・ 避難所は複数あった方が、より多くの方が避難しやすくなるだろう。
- ・ 施設を統合すると、避難所拠点の選択肢も減ってしまうのではないだろうか？ 避難所を減らすことで、実際の災害時に機能しうるのか？（コロナなど感染症対策を考えると分散も必要）。避難所の数と、避難所への距離は公共施設の配置を考える視点として必要。ただ減らすというのは疑問。

資料を見ると大塚小の周辺まで災害の危険区域になっているようだ。想定外といわれることが増えているので、子ども達の安全確保や市民の避難所としての観点から学校の立地に不安がある。高台などの安全な場所に施設を建ててほしい。

- ・ 地図をみると大塚小の周辺まで危険区域になっている。「想定外」と言われることが生じることが増えている。津波・高潮が学校までくる場合、子どもたちの安全の確保が出来るのだろうか？市民の避難所としての学校の安全性が心配。災害に備えた学校の立地に不安がある。
- ・ 災害時のことを考えて命を守る公共施設のことにも考慮して配置するべき。
- ・ 高潮などの災害に対して安全な場所に公共施設を建ててほしい。できるだけ高台などに。

小学校には防災の備蓄品が準備してある。台風などの一時的な避難所としては小学校で問題ない。

- ・ 小学校に防災の備蓄品は準備がある。
- ・ 台風などの一時的な避難施設としては小学校で問題はない。

大塚地区は狭隘道路が多く防災の観点からも不安がある。

旧道は道が狭く歩道も整備されていない部分があるが、交通量が多く危険だ。

新しい公共施設には安全に通える道路を整備してほしい。

- ・ 国道 23 号と並行に通る旧国道は、道路が狭いのに交通量が多く危険である。郵便局の交差点などは事故が多い。小中学生も交通事故で亡くなったこともある。
- ・ 旧国道は歩道も一部で十分にはない。通学路にもなっているので、旧国道の交通安全対策を図ってほしい。新しい公共施設には安全に通える道路を整備してほしい。
- ・ 公民館から駅前までは一応の歩道はあるが狭かったり段差があったり十分ではない。そこから先は、少し南に降りた狭い一般道が通学路に指定されている。
- ・ 道路沿いに用水があって深いので、歩いたり自転車で通るときにも心配になる。(場所が未確認)
- ・ 大塚地区は狭隘道路が多くて問題になっている。
- ・ 道幅が狭い地区もある。緊急車両が道を通ることができるのか心配。防災の観点から大塚地区はどうなのか？という疑問がある。

2) 公共施設の現状や今後について気になること

【公共施設全般】

公共施設が複合化することで、多世代が交流できるとよい。高齢者と孫が遊べたり、若者が発表をしたり、日々の生活の中で交流が生まれる施設となるとよいが、その場合遠方の方への配慮が必要だろう。

- ・ 大人や高齢者が集まる公民館と児童館がいい形で一体となると、多世代が交流できて良いと思う。
- ・ 公共施設が複合化して高齢者も若い世代も一つの場所に集まって交流が生まれるようになるるとよい。高齢者が孫と遊べたり、若者が発表したり、日々の生活の中で交流ができる施設がよい。ただし、西大塚など遠くから来る人への配慮は必要。

1つの場所で保育園から中学生まで世代間交流ができる施設となるとよい。施設を利用する子ども達が農家や地域の魅力を経験することで、地元へ愛着が湧き、将来的に地域に留まってくれるかもしれない。

- ・ 塩津地区のように（※）、一つの場所で保育園から中学生まで世代間交流が出来る一貫校になると良い。そこで育った子ども達は、農家や地域の魅力を経験しやすくなって、地域へ愛着が湧く、将来的に地域に留まってくれるかもしれない。
- ※ 塩津地区個別計画では、塩津小学校敷地に保育園・小学校・公民館の機能を集め、子育てと交流の拠点を整備することとしています。

保育園から小学校、中学校へと環境が変わる良さもある。子どもにとってはお兄ちゃんお姉ちゃんになるという気持ちが芽生える。

- ・ 複合の考え方に対して、保育園から小学校、中学校へ、環境が変わる良さもある。子どもにとってお兄ちゃんお姉ちゃんになるという成長する感覚がある。

保育園と小学校が一体化するとお迎えも安心で楽だ。先生と話をする場もでき、メリットが多そう。

- ・ 保育/幼稚園と小学校が一体化してくれればお迎えも安心で楽。先生と話をする場もできるし、メリットがたくさんありそう。

地理的に他の地区と離れているので、地区内で公共施設を複合化する方向になると思う。

- ・ 大塚は地理的に他地区と離れているので、地区の中で公共施設を複合化する方向になると思う。

豊橋や新城では学校と公民館が併設されており、夜は体育館を地域の人が使うなど上手に使っていると聞くので、大塚でも見習うとよい。

- ・ 豊橋には小学校の中に公民館があったり、新城の中学校にも公民館が併設されて、体育館については昼間は中学生が使って夜は地域の人が使うなど上手に使っているので、大塚でも見習ったらよい。

子どもが遊ぶ場所がないため、日陰の空間や室内の遊び場など子ども達の居場所があるとよい。また、今後部活動がなくなるのであれば、外部のサークルや指導員、公民館、児童館などを活用し、自宅以外に過ごすことのできる場所が欲しい。

- ・ 夏休みに子供が遊ぶ場所がなく、もっと子供の居場所があるとよい。屋外の日陰空間や、室内で遊べる場がほしい。
- ・ 日陰といえば、橘ヶ丘里山緑地公園は子どもの居場所としておすすめ。
- ・ 児童館は面白くないと子どもも言っている。部活動がなくなるのであれば、外部のサークルや指導員に依頼するなど、公民館や児童館なども活用して何か出来ないのだろうか？ 自宅以外に過ごすことのできる場所が欲しい。

施設の再編を考えるうえで、駐車場は重要だ。

- ・ 施設再編を考える上で、駐車場のことを考えることは重要。

保育園と公民館の一体化ならば駐車場が十分確保できるのではないだろうか。

- ・ 複合等を考える時に、保育園と公民館の一体化なら駐車場が十分に確保できるのではないか。

【小中学校】

子どもの数が減っており、1学年1クラスという状況なので小中学校は一緒にするとよい。小学校から中学校へと同じメンバーで進学するので一貫校にしてもよいだろう。

- ・ 子供の人数が減少しており、小学校・中学校は一貫校にすると良いのではないだろうか。
- ・ 今は学年1クラスと児童・生徒数は少ないので、小学校と中学校が一緒になったほうが良い。
- ・ 将来予想のようにもっと人数が少なくなるならば、小中学校は複合化した方がよい。現状で小学校と中学校で同じ児童・生徒があがるので、小中一貫校にしてもよいと思う。

人数が少ないためか、子ども同士の仲が良い。特に問題がないのであれば、小中一貫校にしてもいいと思う。

- ・ 2クラスしかなく人数が少ないからなのか、基本的に小学校、中学校共児童、生徒同士は仲が良い。特に問題なければ小中一貫校にしてもいいのではないかな？

地区の真ん中にある蒲郡東高校付近の基盤整備された場所に小中一貫校を整備してはどうか。

- ・ 真ん中の東高校の近くの基盤整備された場所に小中一貫校を整備してはどうか。

大塚は分村合併をしたため小中学校が地区の東端に立地しており、配置のバランスが悪い。西大塚や相楽の子どもは通うのが大変だろう。体力がつきよい面もあるが、冬場や雨の日は家族が送迎することもあるようだ。

- ・ 小中学校は地区の東端に配置されている。分村合併等により旧大塚村の一部が御津町に属したことによるが地区と施設の位置のバランスが悪い。
- ・ 大塚は分村合併したため小学校が東大塚に立地しているが、西大塚や相楽の子どもは通うのが大変と思う。
- ・ 相楽や西大塚など遠くから歩いて通学する小学生は朝早いし、帰りも遅くて大変ではないか。
- ・ 冬で帰りが遅いと道が暗くなるので、相楽の子は家族が迎えに来たりしていて大変だと思う。
- ・ 大塚地区の西寄り子ども達は学校に通うのに距離がある。隣の三谷東小まで5分の子どもも大塚小へ通っている。子どもの足だと学校まで徒歩で40～50分かかってしまうが、その分体力がつく子もいる。行きも帰りも基本的に通学団で通うが、今のご時世、雨の日は親御さんが車で送迎することもある。

小学校は通学路の安全性が心配だ。道が狭かったり、危険な場所もある。交通安全だけでなく、冬は道が暗くなるので防犯の面でも心配だ。

- ・ 小学校は通学路の安全性が心配。大塚地区の西側に住んでいるが、通学路も道が狭い箇所もある。歩道も整備されていなくて使えるのか？と不安がある。
- ・ 旧道は40km制限であるが、通学路であり交通量も多く、ゾーン30に指定したいが難しい。また、蒲郡東高校に入るところの通学路で危険な場所がある。具体的には、大塚郵便局のあたり、上中島の信号から南部分やゲンキー大塚店の平坂街道、中野理容店のあたり。ただし、今後バイパスができると解消される部分はあるだろう。
- ・ 交通安全だけでなく、冬は帰りが遅いと道が暗くなり防犯の面でも心配がある。

年上の子が下の子の面倒をみながら通学しているのを見るとかっこいいなと思う。異年齢の子ども達の交流は新しい刺激があり、良い効果があるのではないか。

- ・ 年齢の上の子が下の子を面倒みながら通学しているのを見ると、「かっこいいな」と思う。異年齢の子供たちの交流は新しい刺激があり、良い効果があるのではないだろうか。

現在学校に通う子どもに建物について聞いたが、特に不満はなく楽しく勉強しているようだ。

- ・ 現在学校に通う子供に建物について聞いたが、特に不満はなく楽しく勉強してる、とのこと。

入学する児童の数が減っている。かつては各学年2クラスあったが、今年の1年生は1クラスだ。既存の規模や教室数が必要なのだろうか。教室を大きくとることも考えられるだろう。

- ・ 入学児童の数が減っている。かつてはどの学年も2クラスあった。今年の新入生は1クラス。空き教室が増えていくのではないだろうか？既存の規模や教室数が必要か？教室を大きく取ることなども考えていけるのではないだろうか。

部活動が少なく、小学校の文化部は吹奏楽しかない等入りたいと思う部活がなさそうだ。多様な楽しみが地域にあると放課後の過ごし方が充実するのではないか。

- ・ 学校の部活動が少ない。文化部は小学校は吹奏楽しかない。子どもが入りたいと思う部活はなさそう。部活動とすると制限もあるのかもしれない（顧問問題もあるかもしれない）が、多様な楽しみが地域のなかにあると、放課後の過ごし方が充実するのではないか。

学生時代の部活動のメンバーとは今でも交流があり、強いきずなががある。今は同級生同士や先輩後輩の繋がりが希薄化しているように感じるので、地域の様々な人材が地区の子どもの繋がりの機会に力を添えられるとよい。

- ・ 学生時代のテニス部のメンバーとは今でも交流があり、強いきずなががある。勉強以外の交流でも仲間意識を強めてきた実感がある。勉強だけでなく、部活動も大切。
- ・ 同級生同士、先輩後輩の繋がりが希薄化しているのではないだろうか？学校や地域が部活動（地区の子どものつながりの機会）に力を添えるべきではないか。
- ・ 地域にはさまざまな人材もいると思うので、部活動などの課外活動と連携していけると良いのではないか。

校庭の遊具が減っている。ゲームなどで外で遊ぶ機会が減っており、ますます日に当たる
ことが減るのではないか。

- ・ 校庭の遊具が減少している。いまの小学生は外で何をして遊んでいるのだろうか？そ
もそもゲームなどで外で遊ぶことが減っているのに、遊具がないと、益々日にあたる
ことが減るのではないか。

【保育園】

0～1歳の低年齢児保育がないことは、子育て世代が移り住まない決定的な要因となるだろ
う。今後も共働き世帯は増えるので低年齢児保育もできる保育園にしてほしい。

- ・ 0～1歳の低年齢児保育がないことは、子育て世代が移り住まない決定的な要因にな
りうらと思う。
- ・ 大塚保育園は三谷東保育園に比べて狭く、スペースが足りないため、0～1歳児保育
にも対応できない。今後も共働き世帯は増えると思うので、低年齢児保育もできる保
育園にしてほしい。
- ・ なぜ大塚地区に保育園が2つもあるのか？2つあるにもかかわらず、どちらも未満児
保育がない。今の社会的なニーズにそぐわないので、改善して欲しい。

低年齢児や延長保育、一時預かり、病児保育など保育サービスが充実していない。サービ
スが充実したら、思うように働けるのと思う親は多いのではないか。

- ・ 延長保育が大塚西保育園では実施されておらず、大塚保育園でも2歳児から。兄弟で
も園がバラバラになってしまうようなこともある。職員の人数が問題なのか、一時保
育も預けられないということもあつたりした。
- ・ そもそも働く場所が少ない。保育も充実していないし、核家族には、病児保育のサー
ビスも十分ではない。結局パートなどに出ることを断念した。サービスも充実したら
思うように働けたのに、と思う親は多いのではないか。
- ・ 病児保育は形原の保育園が行っているらしいが、定員も少ないらしいし、大塚地区か
らは遠い。

大塚西保育園の園児数が減少しているのので、大塚保育園と合併してもいいのではないか。
2園を集合することで、低年齢児や保育時間などのサービスを向上するのがよい。

- ・ 現状の園児数をみると2つの保育園合わせて80人なので、2つを集合化して低年齢
児や保育時間などサービス向上に対応するのがよいと思う。
- ・ 大塚西保育園の園児が減少している（19名くらい？）。大塚保育園と合併してもいい
のではないか？
- ・ 大塚西保育園は借地であり、借地料が入らなくなると地主（お宮さん）が困る。
- ・ 三谷にある「みどり保育園（民営）」が人気であり、大塚西保育園が合併した場合に
跡地を借り上げる可能性があるという聞いたことがある。

保育園は、子ども達や親の交流を増やすために合併してもよい。

- ・ 保育園では、子ども達や親御さん達の交流増やすためにも一緒に(合併)しても良い。

保育園が老朽化しており、地震などを考えると不安だ。塩津地区のように施設の集合をすることで大塚も1つにして新しくなるとよい。

- ・ 保育園の老朽化を感じる。50年前と建屋が同じで古い。震災なども考えると不安。
- ・ 保育園はどちらも築50年ほど経過している。屋根も老朽化していて耐久性が無い印象であり、塩津地区のように施設の集約合併等することで大塚保育園も一つにして新しくなると良い。

施設を一体化することで、渋滞や駐車場不足、マナー違反による周囲への迷惑などお迎えの車が心配である。

- ・ 施設の一体化はお迎えの車の問題が心配である。渋滞、駐車場不足、マナー違反による周辺への迷惑など。

西大塚からみると東に施設が集中しており、子どもの送り迎えが基本的に車となる。電車通勤をしているため、一度家に車を取りに行くことになる。どこの立地でも難しいと感じている。

- ・ 西大塚からみると東に施設が集中していることもあり、子どもの送り迎えが基本的に車になる。電車通勤している立場からすると一度家に帰ってから車を使って送り迎えになるため、どこの立地でも難しいと感じている。

あさひこ幼稚園の園児が毎月さがらの森に来る。大塚でも自然に触れ合う環境での教育があるとよい。

新しく保育園を整備するのならば、蒲郡東高校の前など海や山の自然を感じる場所が良いが、災害を考えると適地は難しい。

- ・ 蒲郡あさひこ幼稚園の園児が毎月さがらの森に来る。大塚地区も自然に触れ合う環境での教育があるといい。
- ・ 新しく保育園を整備するならば、蒲郡東高校の前の農地とかは候補地。イメージ的には自然を感じるところが良く、海も山も近くて良いところ取りする場所が良い。ただ地震や津波、土砂災害を考えるとなかなか適地は難しい。

【公民館】

公民館で活動している子ども向け教室が一つの子どもの居場所となっている。高齢者向けの教室もあり、ぜひ活用してほしい。

- ・ 公民館では子供向けの教室(ダンス、空手等)もひとつの子供の居場所となっている。ご年配の方向けの教室(太極拳等)もあり、ぜひもっと利用してほしい。

公民館は料理教室やカラオケなどが開かれており、情報発信の場や様々な行事の会場として利用されている。高齢者にとっては地域の繋がりを生む拠点として機能している。

- ・ 公民館は結構利用されている。
- ・ 料理教室、カラオケなども開かれている。情報発信をしたり、さまざまな行事の会場として利用している。公民館は、ある程度の年齢（高齢）の方には、地域の繋がりを生む拠点として機能している。

公民館でラジオ体操を行っているが、他の活動をあまり見ない。ほかにどのように利用されているのだろうか。

- ・ 公民館で朝にラジオ体操を行っているが、他の活動をあまり見ない。他にどんな利用がされているのか？

中学生までは本を借りるために公民館内の図書館分室を利用していたが、若者が公民館を利用する機会はない。

- ・ 以前は中学生までは本を借りるために使ったが、高校からは若者が公民館を使う機会はない。

東大塚いこい会館では日本語教室や多文化交流が行われているが、公民館も地域の外国人が利用し交流が増えるとよいと思う。

- ・ 東大塚いこい会館のように公民館でも地域の外国人が使って交流が増えるといいと思う。
- ・ 児童館内にある「東大塚いこい会館」では、地域在住の外国人向けの日本語教室や多文化交流を行っている。

昔は小中学校と同じように地区の東寄りに立地していたが、現在は地区の中央にあるので場所的には良いと思う。3階建てでエレベーターもあり充実している。

- ・ 昔は小中学校と同じように地区の東寄りに配置されていたが、現在は地区の中央にあるので場所的には良いと思う。3階建てでエレベーターもあり、充実している。

公民館の建物の耐久性や設備の老朽化が気になるが、普段利用している人はどう思っているのだろうか。

- ・ 公民館をあまり利用しない立場から、建物の耐久性や設備の老朽化などが気になるが、使っている人たちはどのように思っているか。心配な点をもっている方がいたら知りたい。
- ・ 公民館は老朽化している。

【児童館】

既に児童館は東大塚いこい会館（集会所）と複合施設になっている。高齢者のいきいきサロンを集会所で行っており、児童館の親子と一緒に体操したり、複合施設を上手に使っている。

他地区には広まらなかったが、複合施設はよいと思う。

- ・ 既に児童館が上島集会所（※）と一緒に複合施設になっている。高齢者いきいきサロンを集会所でやっているし、児童館では未就学児の親子と一緒に体操したり、複合施設を上手に使わせてもらっている。

※ おおつか児童館近くに上島集会所という地域の集会所はありますが、児童館と複合化している東大塚いこい会館とは別の施設です。

- ・ 当時は地域の人が視察に行ったり複合施設を検討してできた。しかし、その後はあまり他地区に広まらなかったが、複合施設はよいと思う。

児童館は町民以外にも御津町からの利用者がいる。施設内から電車が見えることが人気の理由のようだ。

- ・ 児童館は町民の利用以外に、隣の御津町エリアからも来訪者がある。
- ・ 施設内から電車が見えることが人気の一つ。

共働き・シングル家庭の増加に伴い児童館の利用者が多くなっている。長期休暇中は特に多いが、地区内に1つしかなく、規模や運営が心配だ。

混雑しているために家で遊ぶしかないという状況もある。

- ・ 共働き・シングル家庭の増加に伴い、児童館の利用者が多い。長期休暇中は特に多いが、大塚地区では1つしかない。訪れる子どもの数に対して職員が対応仕切れているようには思えない。これからそうした子どもも増えるなかで、規模や運営が心配。
- ・ 児童館は混雑しており、子どもたちは家で遊ぶしかないという状況がある。

【児童クラブ】

働く母親が多いので、児童クラブの利用者も増えている。

おおつか児童館内の児童クラブは部屋が狭く、全員が入れないため、併設する集会所のスペースを借りている状況である。

- ・ 児童クラブは低学年を児童館で、高学年を小学校の一部屋を使い実施されている。夏休みには児童館だけで実施している。働く母親が多いので児童クラブの利用者も増えている。
- ・ おおつか児童館にある児童クラブ用の部屋は狭く、全員が入れない為、併設している集会所スペースを借りて利用している状況である。

児童クラブは高学年が小学校、低学年が児童館で実施されているが、兄弟で利用している家庭は大変ではないだろうか。1か所にまとまると便利になる。

- ・ 児童クラブについて、高学年が小学校で、低学年が児童館なので、兄弟で分かれるご家庭は大変なのではないだろうか？
- ・ 学年によって児童クラブの場所が異なっているので、兄弟によって行く場所が違うことがある。1箇所にとまとると便利になるのではないか。
- ・ 大塚地区の児童クラブは、1、2年生はおおつか児童館を使い、3～6年生は大塚小学校内に専用の部屋を借りて運営している。今は低学年と中高学年が分かれているので1つの場所で全学年が一緒になるといい。

児童館と小学校の児童クラブをなるべく同じ状況にしてほしい。児童館の方がおもちゃが充実しているなどの違いがある。

- ・ 児童クラブは、児童館と小学校となるべく同じような状況にしていきたい。児童館の方がおもちゃなどが充実しているなどの違いがある。